

第3回定例会

決算審査特別委員会の質疑の主なものを要約し掲載しました。

・決算審査特別委員会質疑の中から①

決算審査特別委員会委員長報告

(要旨)

平成23年度の財政運営は、第4期総合計画がスタートし第一次産業の基盤整備、簡易水道等の生活環境整備、町民福祉の向上が図られたところですが、主要財源の地方交付税が国の財政状況等による影響も懸念される中で、補助金・交付金、町債等の財源を重点に、継続した維持管理経費の低減、人件費等の経常経費の抑制に努め、創意工夫により効率的な財政運営に取り組みましたと認められます。

少子高齢化が進む本町において、今後予算規模は今以上に見込まれることから、町民、議会、行政が更なる危機意識を持ち、社会変化に伴う行政需要に対応できるよう、事業の選択と集中により、将来負担の軽減に努め、健全で持続可能な財政運営のまちづくりに取り組みられることを望むものであります。

決算審査特別委員会質疑の中から

総務費

(質) 予備費から充用しているがどういった内容か。

(答) 役場庁舎の3月分の燃料費が不足したため予備費から充用した。

農林水産業費

(質) 地場産品開発研究センターを主に利用した団体の数と延べ人数は。

(答) 昨年度使用日数が106.5日、使用延べ人数が742名、利用料が29万2700円で、主な団体は一互の会など4団体でその他は農事組合単位や婦人部等となっている。つくっているもので最近特に多いのがパンで、その他には豆腐、味噌、シユース、ジャムなどがあります。

商工費

(質) 雇用対策で国の緊急雇用事業を行っているが、森林組合の工場閉鎖の話もある中で、これを短期ではなく継続事業として行う考えはないか。

(答) 国の事業を継続して町が行うという形ではなく、森林組合の関係では、直営で造林、下刈り、除伐などを行うことも協議されているように、町としても協力していきたいと考えている。

また、森林組合に限らず、雇用の創出について検討していきたい。

(質) 森林組合の工場が閉鎖されれば、従業員の方の生活にも影響がでてくると思うが、工場の方が造林や除伐などの作業をすることができるのか。

(答) 従業員の方が造林などの作業を希望された場合には、他の事業者のところで研修を受けたら、現在いる方で作業経験がある職員が教えるなどの方法を考えていくと聞いている。



地場産品開発研究センター

第3回定例会

・決算審査特別委員会質疑の中から②



メガソーラー建設候補地(旧若佐小学校)

(質) 来年4月からメガソーラーが稼働予定だが、施設の管理人を地元で雇用してもらうことができないか。

(答) 事業者と話したところでは、若佐に管理人を置く考えはなく、近隣市町にも同様の施設があるので北見などを拠点とし、複数施設を管理する考えのようです。

土木費

(質) 25年度の町道整備計画と若佐第1団地内道路整備計画はどうか。

(答) 町道は本年度測量調査設計をしている5路線と工区

が残っている1路線の6路線を計画したいと考えている。若佐第1団地内道路は、住宅の整備、解体が終わったので道路の直線化なども含めて検討し整備したい。



若佐第1団地内道路

教育費

(質) 以前学校統合して間もないころ、理科の実験用具が整理されずたくさんあったが、今はどうなっているか。

(答) 理科備品は学校再編時に一度集めた経緯があって、まだ全部が整理できていないが、必要なものは処分し、必要のないものを補充することし、学校に対しても指示している。

(質) 中学生のいじめや自殺が頻繁に起きているが、本町ではPTAと連携した組織づくりなどは進んでいるのか。

(答) 組織づくりは特にやっていないが、常日頃から変わったことがないかその辺をしっかりと見るように校長会、教頭会を通じて各学校に指示している。また、国や道からいじめに関するアンケート調査があり、現状ではいじめはないと認識している。

(質) いじめと定義づける大きなポイント・理由は何だと思っか。

(答) いじめられている側がいじめられていると感じたらいじめなのです。ですから、いじめられている側の立場に立つて判断することが大事だと思っっている。声を発しなくても何がしかのサインを見逃さないように注意深く見る必要と思っっています。

(質) 中学校体育館ではLED照明に交換しているが、小学校体育館の照明は、今後計画的に交換していくのか。また、不要になった柔道用の畳が体育館2階にあり部活の支障になっているようだが改善されているか。

(答) 中学校の照明を変えたとき、若佐小学校と浜佐呂間小学校は同時に交換してい

る。佐呂間小学校は照明器具が昇降型なので電球が切れても他校のように経費が掛からないため、昇降機が使える間は現状のままと考えている。畳については、必要がないのであれば処分することになっていますので、校長とも一度協議し対処したい。

(質) 最近、O157の問題がありましたが、給食センターでは野菜の管理や消毒などマニュアル的に管理されているか。また、そういう器具が完備されているか。

(答) 設備は大規模調理場のマニュアルや学校の衛生管理マニュアルに基づいて整備されており、野菜の管理では、オゾン水発生装置を使用し殺菌もしながら、3槽のシンクで順番に葉っぱ1枚1枚洗っている。なお、給食では生野菜は一切出していません。必ず熱処理しています。



第3回定例会

・決算審査特別委員会質疑の中から③

歳入

【質】町民税の未納額がふえているが、物品や預金、給与の差し押さえなど行っているか。

【答】主に自宅などを訪問し徴収を行っているが、その中でも、なかなか払ってもらえないときは、所得税還付金や給与等の差し押さえもを行っている。

また、町道民税の場合、悪質な者に対しては道に徴収の依頼を行っており、効果も上がっている。

【質】町民センターでは1年間で何名くらい結婚式を挙げているのか。

【答】23年度は使用が無く、24年度は1件あり、10月にもう1件予定されている。

なお、結婚式の使用料は無料となっている。

簡易水道

【質】水道を2栓で申し込んでいたが、現在は1栓しか使っていない場合でも2栓分の水道料金が発生するなのか。

【答】水道料金は栓数に應じて発生することになるので、使用していなくても2栓で申し込んでいれば2栓分の基本料金が掛かるので、1栓しか使用しない旨連絡をいただければ申し込み内容の変更をすることが出来ます。また、夏だけ2栓使い、冬は1栓しか使わない場合なども、その都度連絡いただければ変更できます。

以前から、こういった取扱いをしているが、今後は広報等を利用して、さらに周知を図ってまいります。

基金

【質】奨学金の滞納件数と金額は。また、督促はしているか。

【答】23年度は償還者27名中5名が滞納となっており、金額は累計で178万3000円となっている。年2回督促をしており、徴収対策室とも連携しながら対応しているが、毎回の償還額全額は納入できないため少しずつ償還している方もいることから、そういった方などは少し長い目で見ていく状況もあります。



補正予算

◎特別支援員の増員について

【質】小学校で1、2年生の特別支援員を増員するが現在の状況は。

また、普通学級のまま特別支援員を増員するだけで十分か。

【答】1年生は担任と特別支援員1名で4月から授業を行っていたが、授業に支障が出るようになり、現在は校長・教頭が特別支援員の代わりにしている状況となっている。また、2年生にも特別支援員が必要な状況となっている。学級については保護者の意向に沿った形をとるが特別支援学級になっても特別支援員が必要な教科もある。こういったことから、今後普通学級、特別支援学級を問わず、必要な状況があれば積極的に対応していきたい。

◎少人数学級の継続の実施と特別支援員の確保について

【質】現在は小学校1年生を少人数学級としているが、これを他の学年にも適用させる考えはないか。

また、特別支援員を登録制にするなどの確保対策が必要ではないか。

【答】少人数学級を行うために町が独自に教員1名を配置しているが、来年度の新1年生が30人を下回った時には、1年生を1学級とすることも検討したいと思っており、その場合その1名の教員の方を他の学年に配置できればと考えている。

特別支援員は、できれば教員の資格を持った方、あるいは保育士や福祉関係の資格を持っている方が望ましいが、なかなかそういった方がいらっしやらないのが現状ですので、登録制が可能かどうかということも含めて検討したいと思っている。